MS-4014: AI エージェントを構築し、 Microsoft 365 Copilotを拡張するための

基盤を構築する

全体像を理解する

全4モジュール

本資料の内容は以下のMicrosoft Learnコンテンツに準拠しています。



Al エージェントを構築し、Microsoft 365 Copilotを拡張するための基盤を構築する

モジュール4 カスタムエンジンエージェント開発

MS-4014: AI エージェントを構築し、 Microsoft 365 Copilotを拡張するための

全体像を理解する

モジュール1 エージェントの基礎の解説 モジュール2 MicrosoftのAIエージェント関連テクノロジ解説 モジュール3 Microsoft 365 Copilotの 拡張・カスタマイズ

MS-4014: エージェント開発のための 多数のテクノロジの概要を理解し 適切なものを選べるようにする

Microsoft 365 Copilotの カスタマイズや エージェント開発に関す るコースのご紹介

concept learning

MS-4014 Build a foundation to extend Microsoft 365 Copilot

今回解説するMS-4014では エージェント開発のための基礎知 識、全体像を俯瞰的に解説。 演習なし、座学のみ。 using No-code experience

MS-4019

Create a no-code agent for Microsoft 365 SharePoint (Transform your everyday business processes with agents)

[Create agents in Copilot Chat / SharePoint]

using Visual Studio Code

MS-4001

Build collaborative apps for Microsoft Teams

retired 2 Nov, 2024, replacement: none

MS-4010

Extend Microsoft 365 Copilot with declarative agents by using VSCode

[Teams Toolkit extension]

MS-4015

Build custom agents for Microsoft Teams

[Teams AI Library] (deleted from ESI catalog)

using Microsoft Copilot Studio

MS-4009

Extend Microsoft 365 Copilot with Copilot Studio actions and connectors retired 31 Mar, 2025. replacement: MS-4022

MS-4022

Extend Microsoft 365 Copilot in Copilot Studio

PL-7008

Create agents with Copilot Studio

using Azure AI Foundry / Azure OpenAI

AI-3026

Develop AI Agents in Azure [Azure AI Agent Service]



AZ-2005

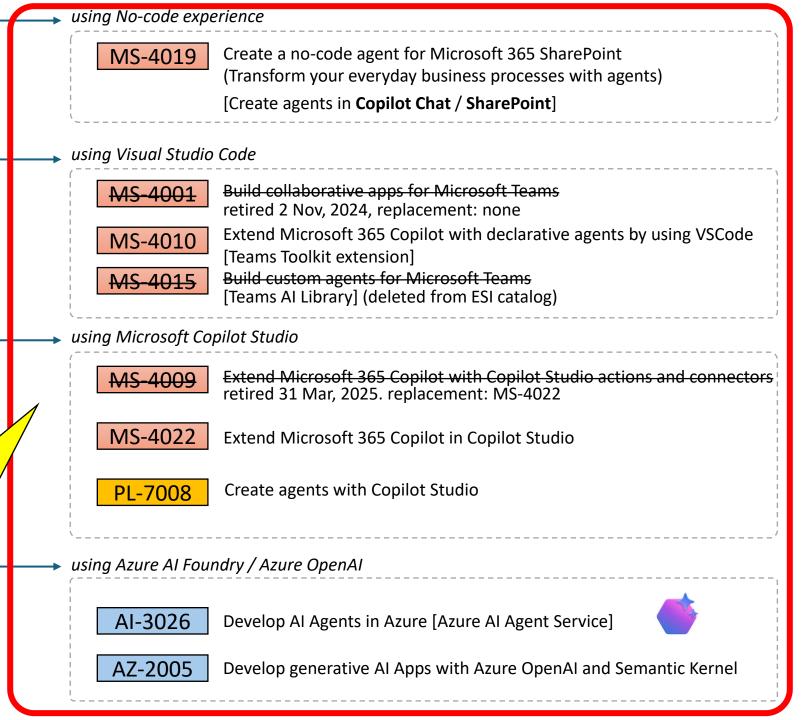
Develop generative AI Apps with Azure OpenAI and Semantic Kernel

Microsoft 365 Copilotの カスタマイズや エージェント開発に関す るコースのご紹介

concept learning

MS-4014 Build a foundation to extend Microsoft 365 Copilot

それぞれのツールを使った、より 具体的な開発方法については、対 応するコースがあります(演習あり)。ぜひ今回のご受講と合わせ てこれらの後続コースの受講もご 検討ください。 これら後続コースについて詳しく は**講義終了時に**解説いたします。



MS-4014 モジュール構成

- モジュール1 AIエージェントの概要
- モジュール2 マイクロソフトのAIエージェント関連テクノロジ

- モジュール3 Microsoft 365 Copilotのカスタマイズ方法
- モジュール4 カスタムエンジンエージェントの開発

モジュール1 AIエージェントの概要



AI エージェントの開発の概要

AI エージェントとは何かを調べて、コア コンポーネントを理解し、AI を活用した変革を推進するさまざまなインパクトのあるユース ケースを見つけ出します。



- AIエージェントとは?
- 従来のチャットボットとAIエージェントは何が違うのか?
- なぜ今AIエージェントが着目されているのか?
- エージェントはビジネスでどのように役に立つのか?
- お客様事例
- AIエージェントの内部構成
- ・まとめ

- ・AIエージェントとは?
- ・従来のチャットボットとAIエージェントは何が違うのか?
- なぜ今AIエージェントが着目されているのか?
- エージェントはビジネスでどのように役に立つのか?
- お客様事例
- AIエージェントの内部構成
- ・まとめ

AIエージェントとは?

- 「エージェント」(Agent) = 代理人、仲介者。
- •目的達成のために自律的に行動するAIソフトウェア
- 単に質問への回答を行うだけではなく、問題解決に向けて能動的に動く
- ユーザーの指示を理解し、複数のタスクを実行できる

- ・AIエージェントとは?
- 従来のチャットボットとAIエージェントは何が違うのか?
- なぜ今AIエージェントが着目されているのか?
- エージェントはビジネスでどのように役に立つのか?
- お客様事例
- AIエージェントの内部構成
- ・まとめ

従来のチャットボットとAIエージェントは何が違うのか?

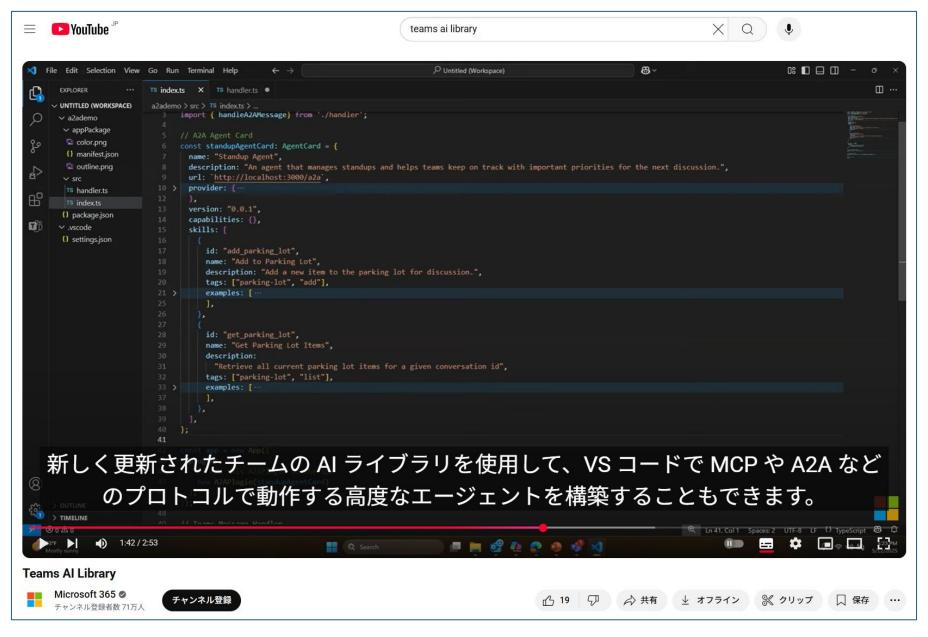
- 従来のチャットボットはあらかじめプログラミングされたこと しかできなかった
 - ・決まったパターンでの質問や指示にしか応答できなかった
- AIエージェントは文脈を理解し、柔軟にタスクを遂行する
 - 生成AIにより、ユーザーの指示を柔軟に理解して作業を実行
 - 複雑な指示や複数ステップの処理にも対応できる

- ・AIエージェントとは?
- 従来のチャットボットとAIエージェントは何が違うのか?
- なぜ今AIエージェントが着目されているのか?
- エージェントはビジネスでどのように役に立つのか?
- お客様事例
- AIエージェントの内部構成
- ・まとめ

なぜ今AIエージェントが着目されているのか?

- ・生成AIの進化により、高度な推論と自律性が実現
 - OpenAI o1などの高度な推論能力を持つAIが登場
- ・エージェントを実装するための標準化が進んだ
 - MCP(Model Context Protocol): エージェントが外部ツールを呼び出す 仕組み。Anthropicが提唱。多くのAIツールで対応が行われた。 Microsoftの製品でも対応が進行しており、例えばMicrosoft 365 Copilot ではMCPサーバーと通信するカスタムコネクタを利用できる。
 - A2A (Agent to Agent Protocol): エージェント間のコラボレーションを 行うためのプロトコル。Googleが提唱。50社以上が支持を表明。 Microsoftの製品でもこのプロトコルへの対応を行う予定。
- Azure Al Foundry Agent ServiceやSemantic Kernlなど、エージェントの開発・運用を行うためのサービスやSDKが充実してきた

■ Teams AI Libraryを使用したエージェントの開発についての解説動画。MCPやA2Aに対応するエージェントを比較的簡単に開発できるようになった。



- AIエージェントとは?
- 従来のチャットボットとAIエージェントは何が違うのか?
- なぜ今AIエージェントが着目されているのか?
- エージェントはビジネスでどのように役に立つのか?
- お客様事例
- AIエージェントの内部構成
- ・まとめ

エージェントはビジネスでどう役に立つのか?

- 業務の自動化、情報収集、意思決定支援などに活用可能
- カスタマーサポートや営業支援など幅広い分野で導入が進んでいる
- 人の作業を補完し、生産性を大きく向上させる

- AIエージェントとは?
- 従来のチャットボットとAIエージェントは何が違うのか?
- なぜ今AIエージェントが着目されているのか?
- エージェントはビジネスでどのように役に立つのか?
- お客様事例
- AIエージェントの内部構成
- ・まとめ

お客様事例: 沢井製薬様

- 「ベテラン社員のようなAIエージェントを作りたい」「研究者の相談相手として使用したい」という社内の要望を受けて、 Azure OpenAl Serviceを使用してエージェントを実装
- AIエージェントが自律的に質問を解釈し、RAG(取得拡張生成)を使用して社内データから回答を探して回答
- ユーザーの入力が不足している場合は、『何の素材に対する試験結果ですか?』など質問を聞き返し、フォローアップする工夫も行っている
- 2024 年 8 月から、「相談相手に生成 AI を活用する仕組み」を 製剤研究部全体に展開。現在、同部の全研究者 50 人が使える 状態となっており、部門全体で利用頻度は 100 回/月に及ぶ

自律制御型RAG(Agent)

ユーザーの質問に対して、AI が "何をすれば最適な答えが得られるか" を判断。必要な回数だけ検索を繰り返し、回答を生成します。 質問に対して1回のみ検索を実行する従来手法とは異なり、比較や列挙といった複雑な質問にも柔軟に対応できます。

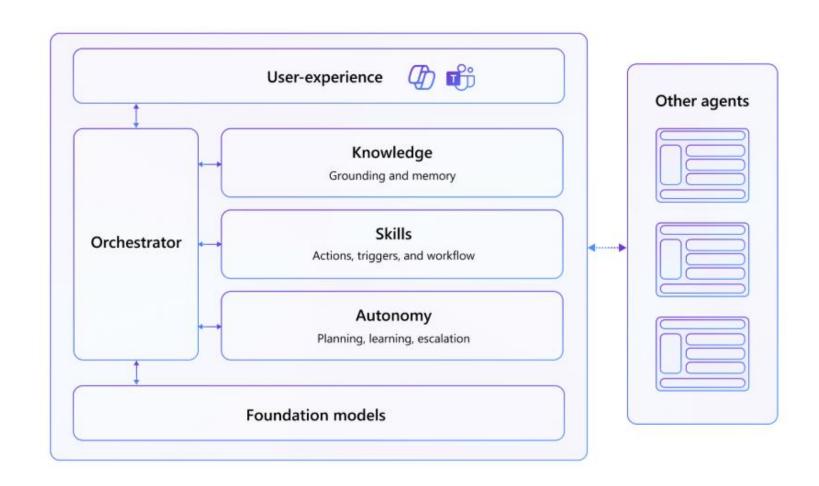


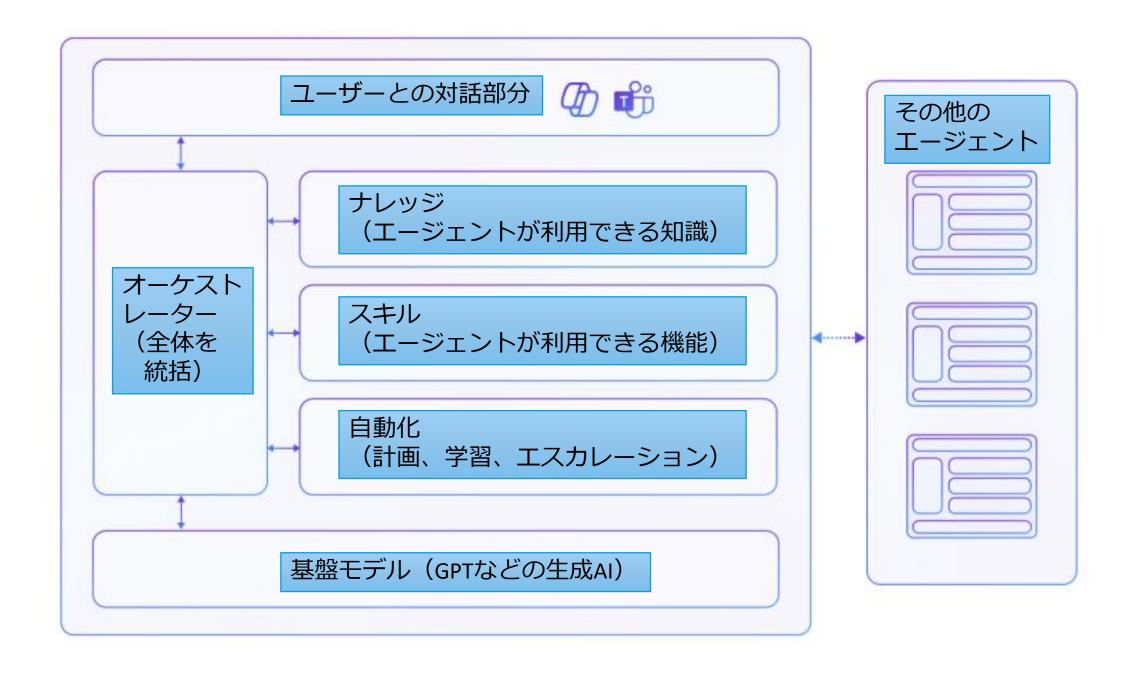
自立制御型 RAG (Agent) の概要図。ベーシック提供

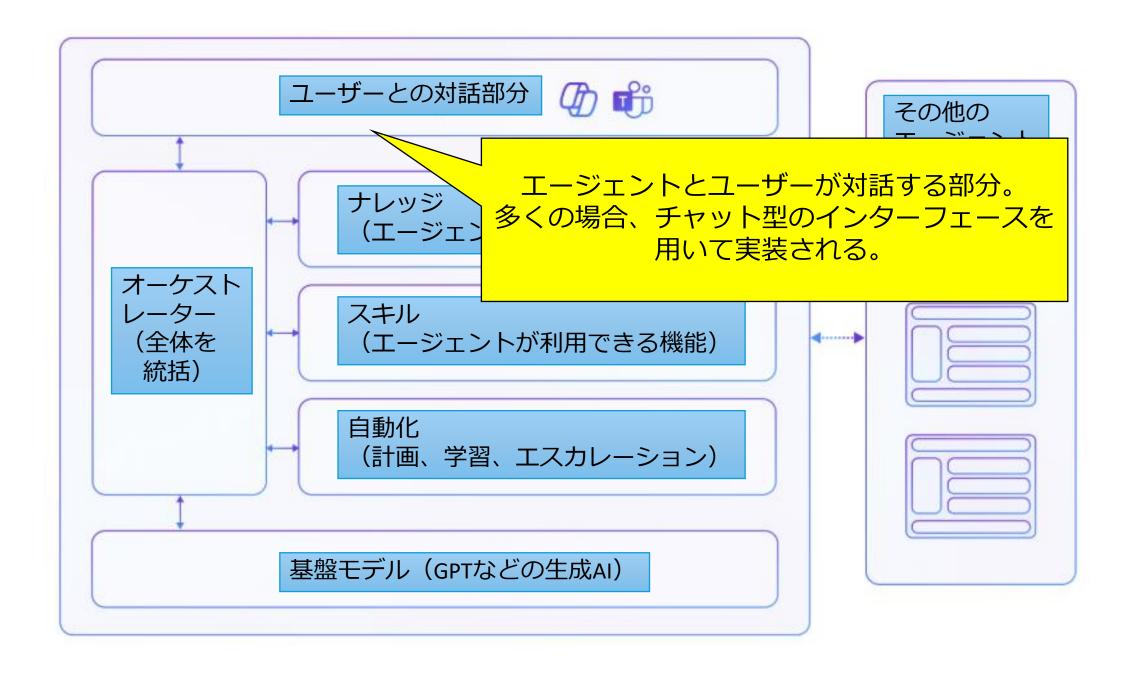
「SAWAI DX」により業務プロセス改革に取り組む沢井製薬。Azure OpenAl Service 導入により閉じた環境で研究員の相談相手に Al エージェントを活用 | Microsoft Customer Stories

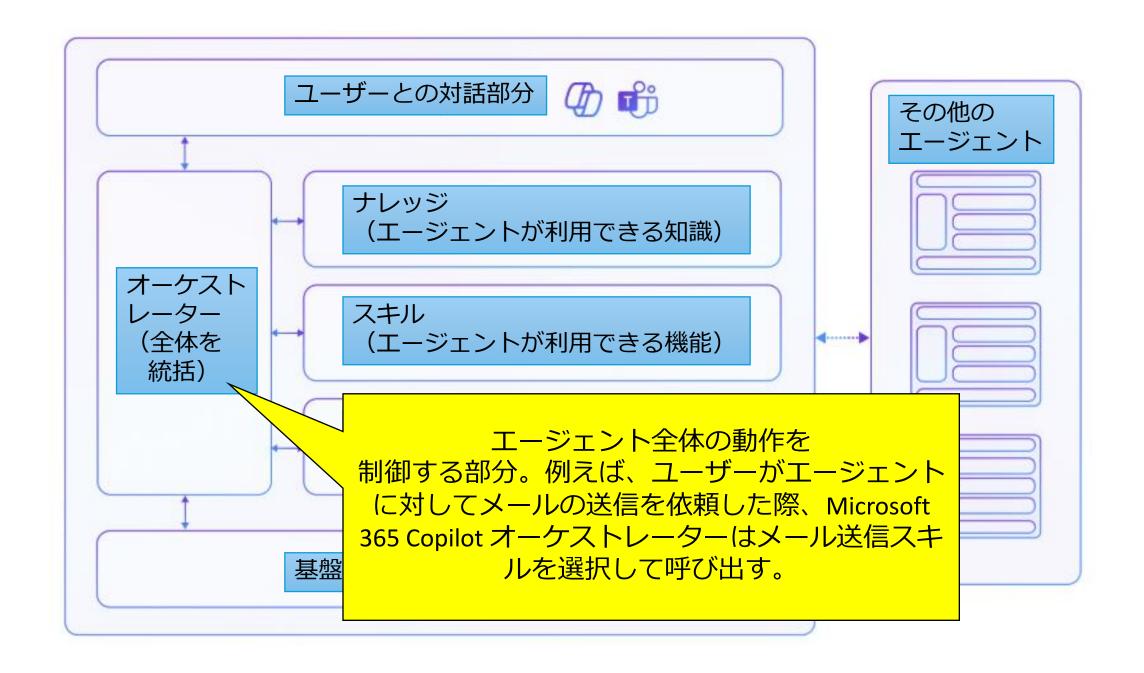
- ・AIエージェントとは?
- 従来のチャットボットとAIエージェントは何が違うのか?
- なぜ今AIエージェントが着目されているのか?
- エージェントはビジネスでどのように役に立つのか?
- お客様事例
- AIエージェントの内部構成
- ・まとめ

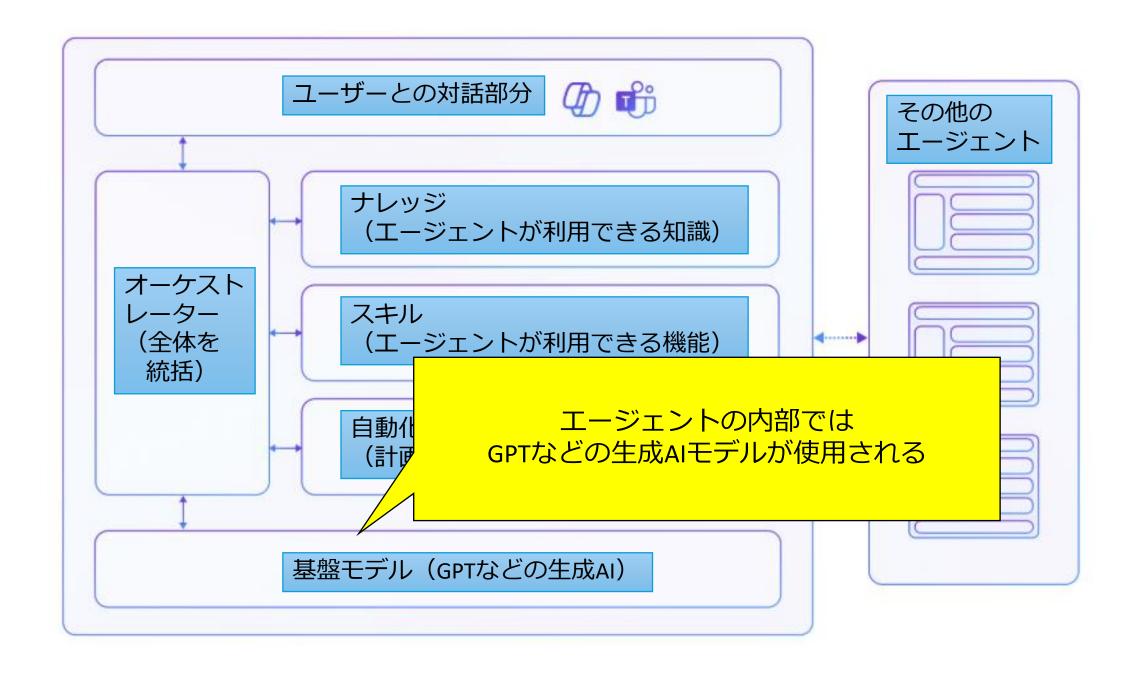
AIエージェントの内部構成

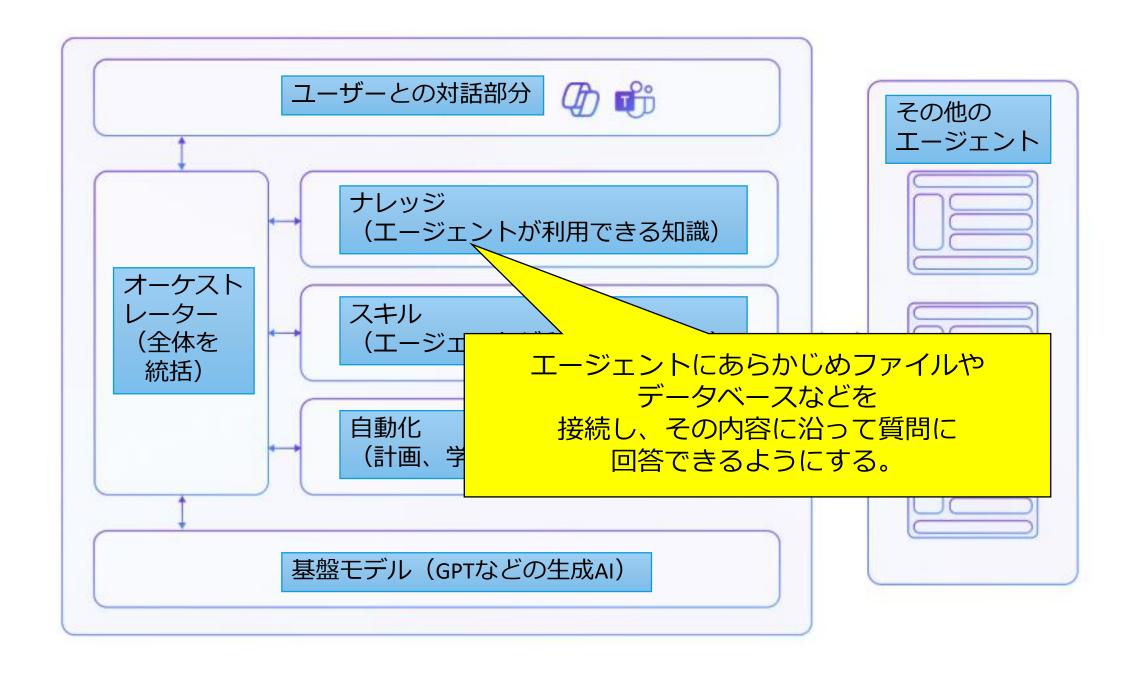


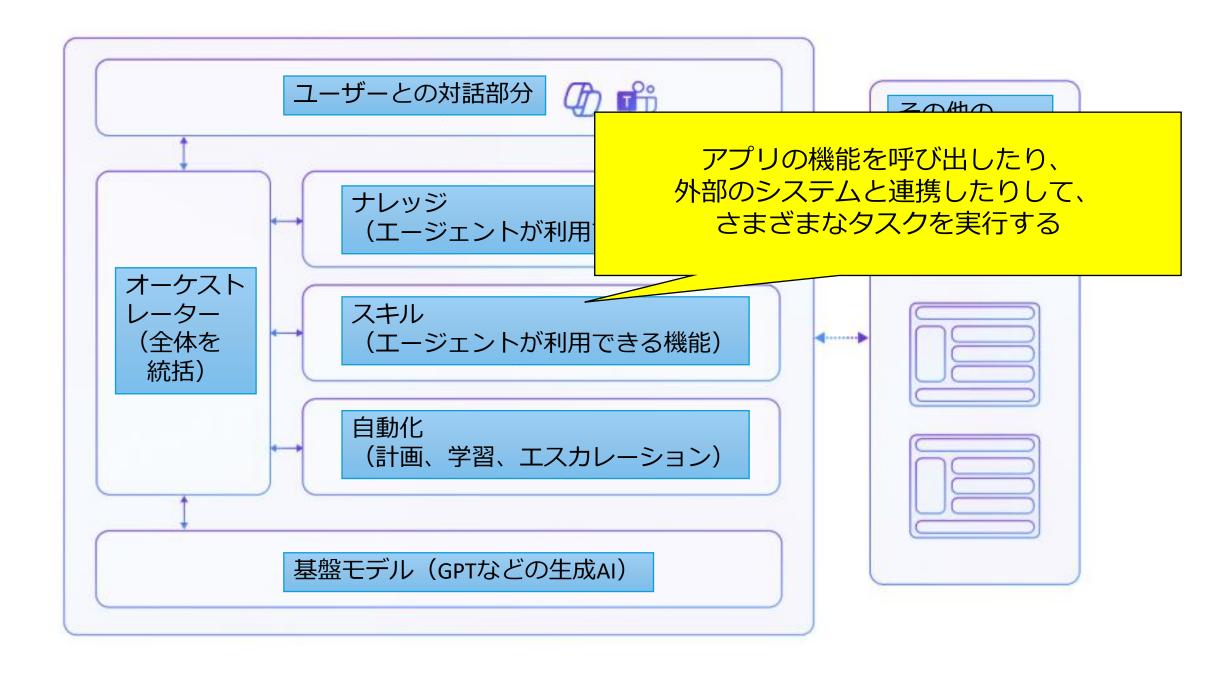


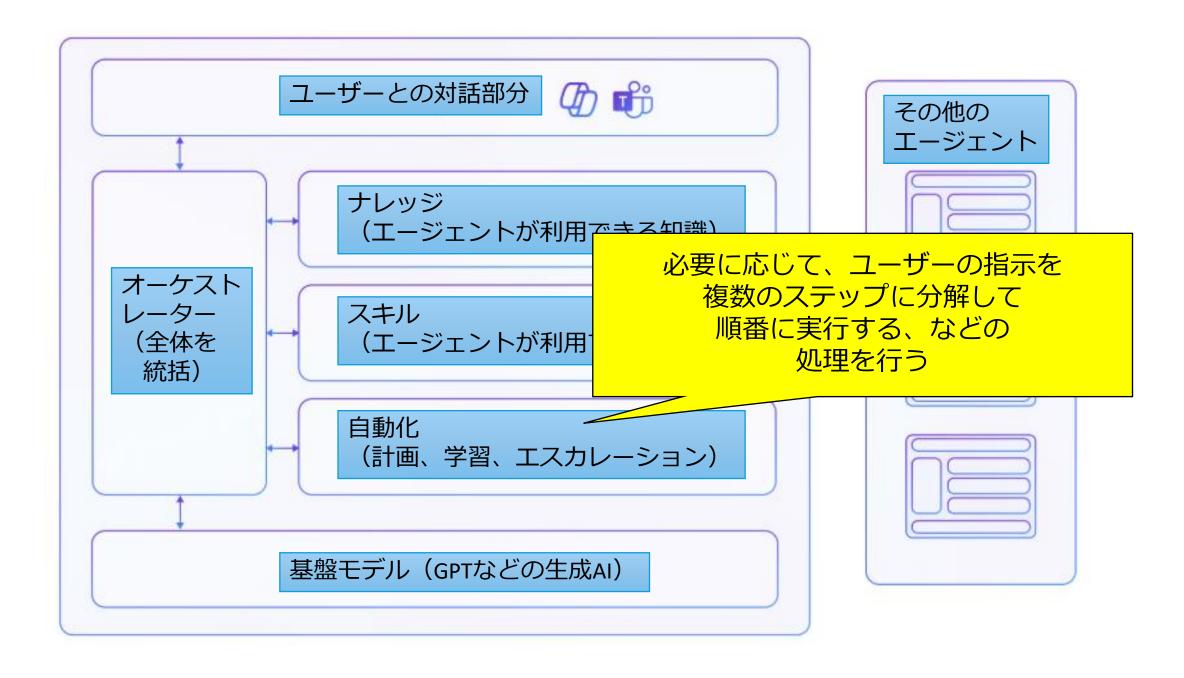


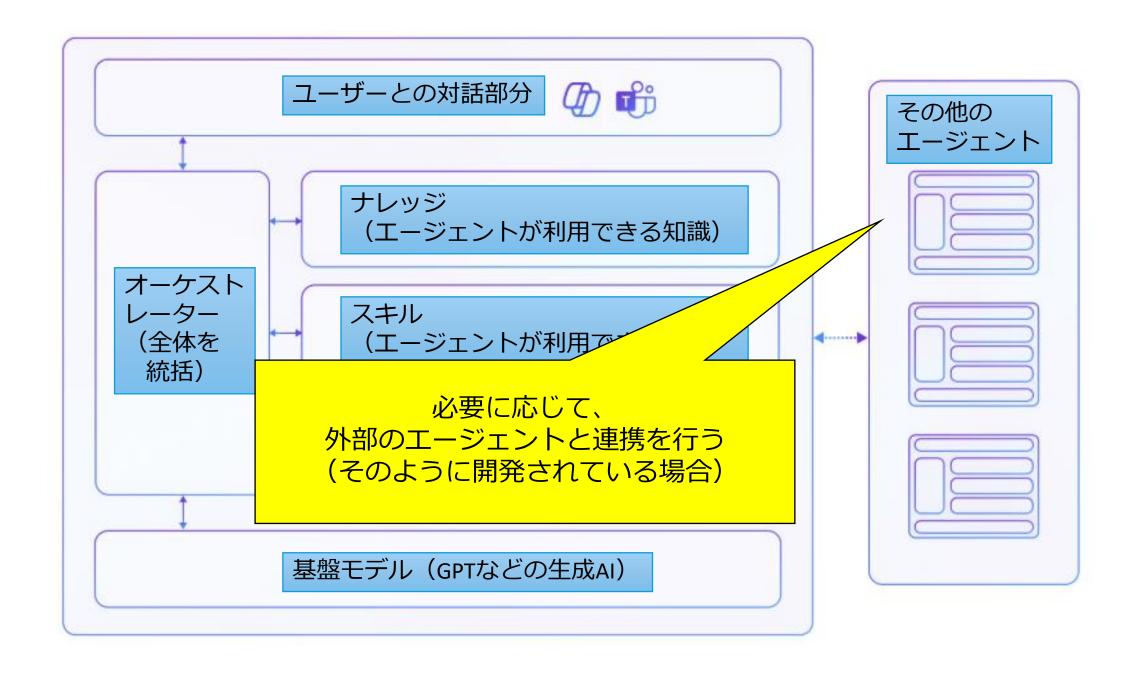












- ・AIエージェントとは?
- 従来のチャットボットとAIエージェントは何が違うのか?
- なぜ今AIエージェントが着目されているのか?
- エージェントはビジネスでどのように役に立つのか?
- お客様事例
- AIエージェントの内部構成
- ・まとめ

モジュール1 AIエージェントの概要 まとめ

AIエージェントとは?	目的達成のために自律的に行動するAIソフトウェア。単に質問への回答を行うだけではなく、問題解決に向けて能動的に動くもの。
従来のチャットボットとAI エージェ ントとの違い	従来のチャットボットはあらかじめプログラミングされたことしかできなかったが、AIエージェントは生成AIを利用してユーザーの指示を柔軟に理解して作業を実行できる。
なぜ今AIエージェントが注目されて いるのか?	生成AIモデルの進歩、エージェントを実装するためのMCP・A2Aなどの技術の登場、AzureのAIサービスの進化などにより、AIエージェントを開発・運用できる下地が整った。実際のビジネスでのエージェント開発・運用の事例もある。
AIエージェントはビジネスでどう役 に立つのか?	業務の自動化、情報収集、意思決定支援などの場面でエージェントが役立つ。たとえばベテラン社員に近い回答を行うことができる社内用AIエージェントなどが実際に利用されている。
AIエージェントの構成	オーケストレーター、生成AIモデル、接続されたナレッジや スキルなどから構成される。